



第1回尼崎市ユースワーク推進部会 ～令和3年度の取り組み及び令和4年度の運営について～

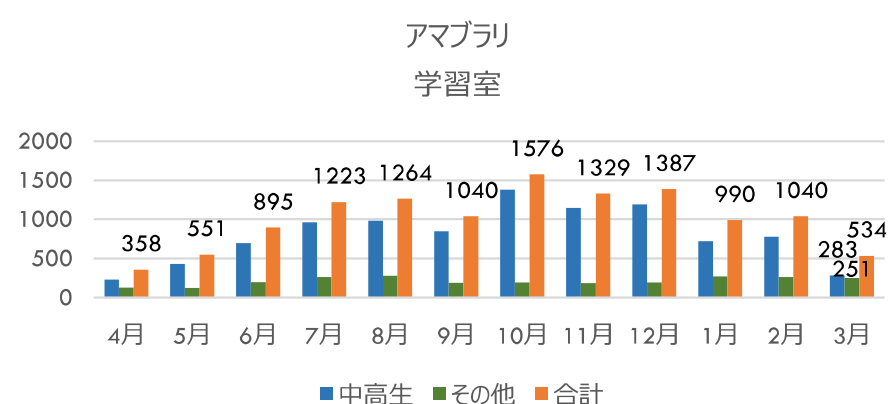
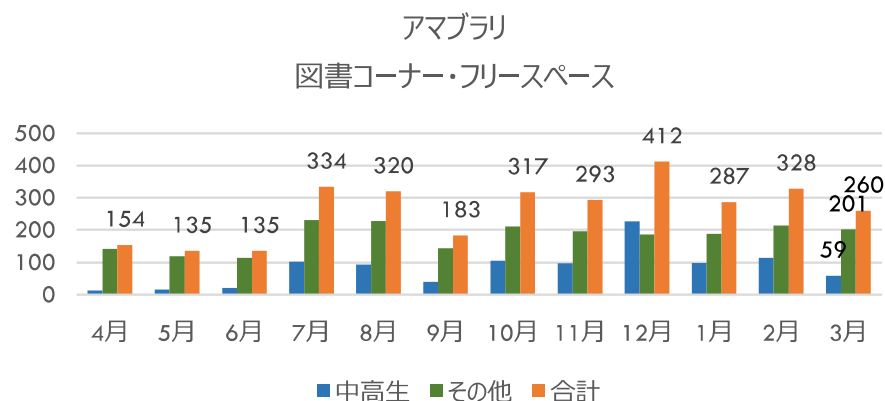
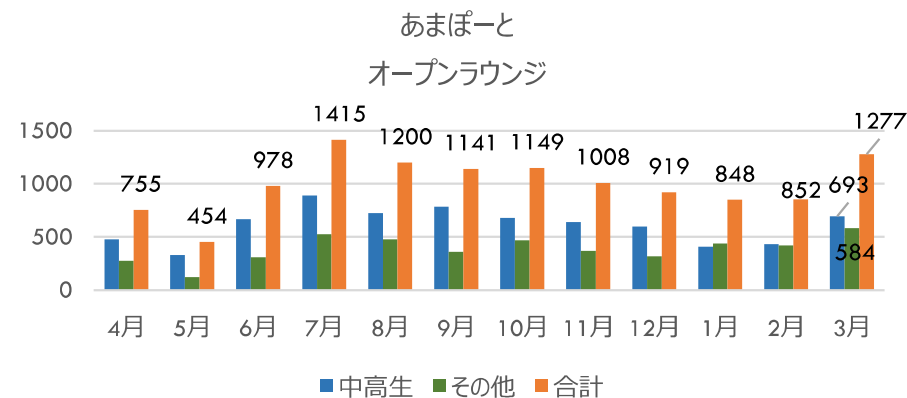
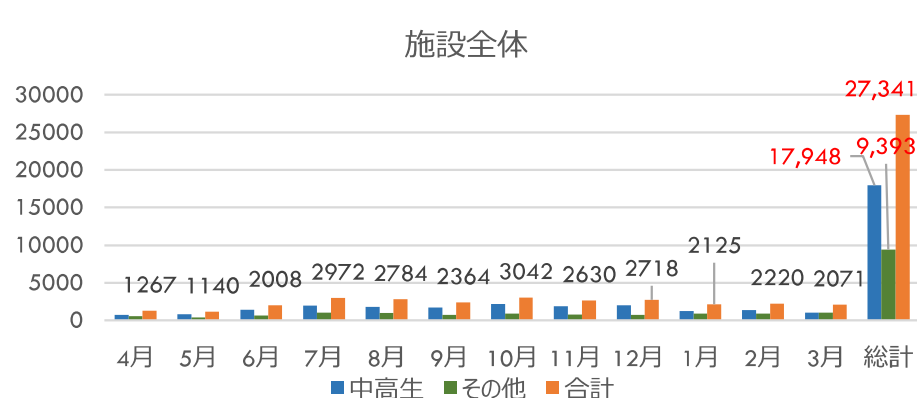
やりだいをやるう。

尼崎市立ユース交流センターは、青少年一人ひとりが
成長と自己実現ができる居場所を目指しています。

尼崎ユースコンソーシアム
Amagasaki Youth Consortium.

※オープンラウンジ・学習室は実人数を記載。図書コーナー・フリースペースは定時観測（12時/16時/20時）で記載。

フリースペース利用者数

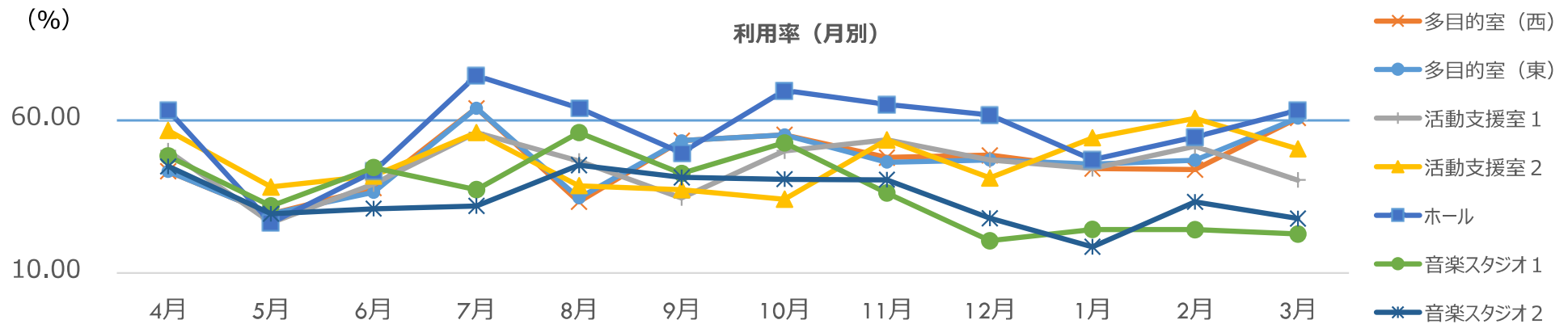


◆新型コロナウイルス感染症の影響もあり、休館や利用制限を行いながらの実施となったが、来館者数については、21,758人と前年度比126%増となった。次年度に向けて、SNSや口コミ等の広報を更に強化していきたいと考える。

貸し室利用者数

※青少年稼働率とは、青少年が利用可能な時間帯（平日の夜間/土日祝の終日）の貸し部屋の利用率を表す。

	多目的室 (西)	多目的室 (東)	活動 支援室 1	活動 支援室 2	ホール	音楽 スタジオ 1	音楽 スタジオ 2	合計
利用コマ数	393コマ	394コマ	375コマ	386コマ	479コマ	309コマ	284コマ	2,620コマ
利用者数	3,780人	3,634人	3,652人	3,742人	10,688人	684人	675人	26,872人
利用率	47.87%	47.99%	45.68%	47.02%	58.34%	37.64%	34.59%	45.59%
青少年利用率	51.55%	50.88%	48.89%	45.35%	80.75%	43.58%	37.83%	51.26%



◆新型コロナウイルス感染症の関係で、休館等をした時期もあったが、できるだけ利用者にとって利用しやすくなるように心がけ施設運営を行った。特に音楽スタジオでは、コーラスや吹奏楽の利用制限をしているため、利用率が低かった。今後活用方法など検討を行い、利用活性化に力を入れていきたい。

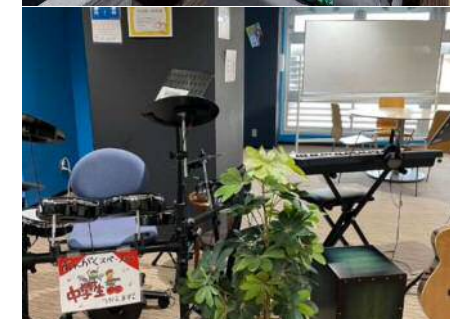
実施イベント

様々なニーズに応じていくために、オープンラウンジにゲームコーナーやPCタブレットの設置、電子ドラムなどの音楽スペースの設置にも取り組んだ。また、様々なイベントを実施し、スタッフや中高生世代同士での交流を図れるよう工夫を行った。

実施月	主なイベント	イベント数	参加人数	実施月	主なイベント	イベント数	参加人数
4月	10代研究所 インスタライブ	29本	332人	10月	ハロウィンイベント	22本	330人
5月	英語講座 大喜利大会	44本	654人	11月	モルック体験 中高生café	16本	101人
6月	イラスト講座 Sports Day	15本	116人	12月	弁護士イベント LGBTQイベント	18本	183人
7月	ギター講座 Music Live Show	15本	116人	1月	書初めイベント プログラミング	18本	70人
8月	Youth café 怖い話	11本	43人	2月	TRPGをやろう 卒業パーティー!!	19本	145人
9月	オンラインギター 講座	4本	6人	3月	ボードゲーム大会 外遊びイベント	18本	74人
上半期 合計	-	118本	1,267人	下半期 合計	-	111本	903人

※上記のうち講座や中高生の企画については、「青少年向け体験事業」「青少年によるイベント企画事業」に分類する。

◆中高生が企画するプロジェクトを7本実施した。利用者数が増え、1本あたりのイベント参加者数も増加してきている。（昨年度実績：イベント数256本、参加者1,389人）



青少年の自主的なイベント企画

青少年で構成する実行委員会を組織し、ユースセンター全体に関する運営に取り組んだ。(運営メンバー9名)今年度は定期的なイベントの開催や、荷物を置くかごの設置に向けて取り組んだ。また、中高生の「やりたいをやりよう」というキャッチコピーのもと、一人ひとりの自己実現に向けた取り組みを実施した。

プロジェクト	内容
Music Live Show	音楽ライブを実施したい高校生企画。音楽は好きだけど発表の場がない中高生の発表の場を作るためにイベントを行った。(20名参加)
水遊びイベント	中高生の利用者と、利用頻度の低い利用者が、施設に愛着を持ってもらえることを目的に実施した企画。(10名参加)
レクリエーション大会	利用頻度の低い利用者に向けて、ユースに来る理由の一つになるようにイベントを企画運営した。(13名参加)
Hallowe'en Party in尼崎	高校生発案企画。実行委員を集めイベントの企画から当日の運営までを行った。当日はブースの出展、音楽ライブ、フォトスポットの設置などを行った。(184名参加)
クリスマスパーティー	クリスマス友達と過ごしたいという中高生の意見から企画。当日はビンゴ大会やトークブースなどの企画を行った。(27名参加)
少し変わった卒業式	高校生から「コロナで満足に先輩の卒業を見送れなかった」と企画。当日は卒業生の呼びかけや、合唱、卒業証書の授与などを屋外ステージで実施した。(33名参加)
YSCピクニック	ユースの利用者同士の交流を促進するためのイベント。近隣の公園に出向き、外でできないドッジボールや、缶蹴りなど普段とは違う遊びを実施した。(8名参加)

- ◆ユース交流センターの運営を担う、ユース実行委員会の活動を行った。(9名参加)今年度は利用者の交流を目的としたイベントの開催や、荷物を置くかごの設置などに取り組んだ。
- ◆中高生が「やりたい」と思うものをプロジェクトにし、イベント企画を行った。全部で7つのプロジェクトが生まれ、「やりたいをやりよう」というキャッチコピーをもとに、自己実現と交流をテーマに企画を行った。



青少年体験型イベント企画

青少年に向けて、多様なテーマの講座や催し等を実施した。
4月・5月・6月、8月・9月はオンラインで実施した。

講座名	開催月	開催数	参加人数（合計）
ギター講座	4月～3月	24回	66人
イラスト講座	4月～3月	24回	104人
英語講座	5月	1回	8人
ミュージカル講座	5月	1回	6人
マジック講座	5月	1回	1人
プログラミング講座	1月～3月	6回	9人

- ◆利用者の声を聴きながら、6種類の講座を開催した。4月～6月及び8月・9月は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、オンラインで開催し、自粛期間中も学びの機会を提供し続けた。
- ◆次年度は講座は講座のやり方や開催期間などにも考慮し、多種多様な取り組みを開催し、一人ひとりに合わせた体験を深める取り組みを実施していきたい。



サテライト事業

地域の公共施設の貸館などを活用し、ユース交流センターのプログラムに参加できない層に対して、イベントなどを実施した。

地区名	主なイベント	開催月	実施数	参加人数（合計）
武庫地区	中高生がやりたいことを紹介するイベントを行った。 （みんなのユースホームルーム）	3月	1回	12人
小田地区	小田地域課と連携して様々なイベントを実施した （音楽フェス/カードゲーム大会/スケボー体験）	4月～3月	10回	437人
園田地区	ポノポノプレイスと連携して双星高校での居場所カフェ を実施した。地域課と連携したイベントも実施した。	4月～3月	9回	408人
立花地区	立花地域課と連携して居場所運営とイベントを実施した （お化け屋敷/カラオケ大会）	4月～3月	27回	201人
中央地区	中央地域課と連携して中高生がつくる小学生の居場所運 営を行った。	4月～3月	6回	107人
大庄地区	大庄地域課と近隣の中学校の生徒会と連携してイベント 企画立案を実施した。	7月～3月	4回	44人



- ◆今年度は6地区でイベントや居場所の運営を行った。青少年の居場所を身近に創ることを目的に、地域課と一緒に取り組んだ。小田地区や立花地区では、施設内に青少年向けの常設の場所を設置してくれた。今後も地域内でユースワークの視点を広め、地域ごとに研修などを実施していきたい。
- ◆利用者としては、ユース交流センターに来ていない層が参加しており、後日センターに来てくれることや、センターに来ている利用者がサテライトの居場所に通うなどの機会が増えてきており、身近に居場所があることの効果が出てきている。

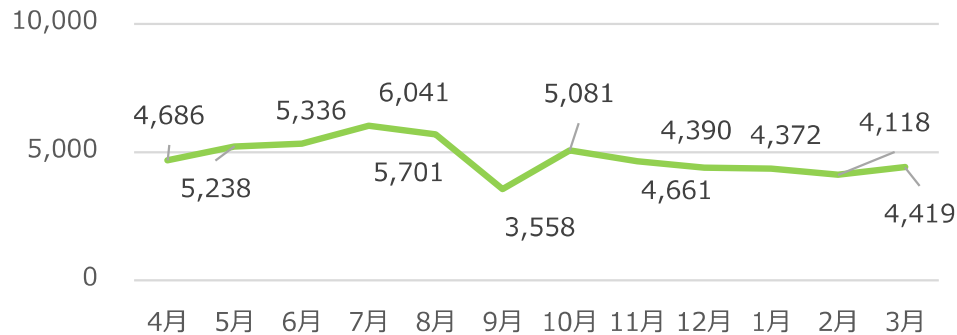
情報収集・情報発信

利用促進や情報公開としてホームページを開設するだけでなく、中高生世代が多く利用しているSNSを作成し、定期的に情報発信を行った。また、チラシやパンフレットを作成し、市内の公共施設等に配布を行い、利用促進を行った。

○SNS登録状況

年度	Twitter	Instagram	Facebook	LINE@
2019年度	274フォロワー	152フォロワー	183フォロワー (169いいね)	227 (友達)
2020年度	408フォロワー	284フォロワー	298フォロワー (253いいね)	447 (友達)
2021年度	534フォロワー	519フォロワー	473フォロワー (410いいね)	520 (友達)

HP閲覧数の推移



※HPを閲覧する前に見ていたページのURL（リファラ）は、「検索エンジン（Googleやヤフー等）」「尼崎市のHP」「Twitter」「Facebook」「Instagram」の順になっており、上記のSNSの広報や尼崎市と連携した広報が実施できていると考える。

◆今年度は利用者の意見もありInstagramに力をいれて広報を実施した。イベント内容や施設情報などを週3～5日程度で発信を行い、登録者数を少しずつ増やしていった。今後も定期的に発信を行いつつ、利用者同士で紹介してもらえるように工夫しながら広報を実施していきたい。

◆また発信内容については、利用している高校生にも意見を求め、新規利用者獲得に向けて取り組んだ。

利用者アンケート

2021年12月9日～28日の期間でアンケートを実施した。アンケートについては、以下の利用者に受付にて用紙の配布を行い、協力をお願いした。

・あまぽーと利用者 ・アマブラリ図書コーナー利用者 ・アマブラリ学習室利用者 ・貸し会議室等利用者
合計451名の回答を得た。（昨年度387名）

詳細については別紙「アンケート結果報告書」を参照。

利用者の声

ビリヤード台を直してくれたらもっと良い

使わなくなった裏紙があれば、ちょっとしたメモや計算に使うため、自習スペースにおいてほしい。

定期イベントの種類がもう少し欲しい。

お昼過ぎには自転車置き場が埋まっていて止められないので止められる場所を増やして欲しいです。

教会の空調がうるさい。活動支援室、夏は涼しく、冬は暖かくしてください。

パンとかの自販機があれば助かります

親子で参加できるイベントをしてほしい。

利用者の声

夏に祭のような形で屋台などを出して欲しい

今まで近くにあったのに知らなかったので子供の学校などでも、ここの施設のことを広めたいと思いました。

ここにこないとイベントの情報が得られないので駅近くや別の図書館など何かしてる情報があると嬉しいです。

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活様式も大きく変わってきている。中学/高校3年生は受験時期に自宅学習に切り替えることやICTを導入した学習スタイルなどがあげられる。社会の変化に対応していけるように利用者の声から事業展開を今後強めていきたい。
- ◆利用者は園田地区の利用者が多く、友人の紹介で来所することが多い。このような状況を踏まえつつ、各地区での取り組みを強化していきたい。

達成目標

	目標	実績 ※カッコ昨年実績	課題や今後の方向性	来期の目標
来館者数	26,000人	27,341人 (21,758人)	休館等もあり、利用者数が伸び悩んだが目標達成は出来た。中学生の利用者が増えてきており、近隣以外からの利用も今後増やしていきたい。	32,800人
青少年の 来館者数	70.0%	中高生の利用 65.6% (65.1%)	中高生の利用者も増えてきているが、近隣の小学生の利用も増えており、割合としては昨年度と変化がなかった。	70.0%
青少年グループ 登録数	92団体	79団体 (77団体)	音楽スタジオを利用制限しており、登録者が減少している。代替案を検討し、広報を行っていききたい。	94団体
施設利用率	46%以上	45.59% (38.73%)	目標には達しなかったが、利用率も向上している。今後も継続して広報を行い、青少年以外の市民にも広く親しまれる施設を目指したい。	54%
青少年で構成される 実行委員会数	10名以上	9名 (4名)	ユース運営委員会のメンバーが増えてきている。今年は体制面の話が多く動きは鈍かったが、次年度は活動を飛躍していききたい。	11名
市内学校 との連携	小学校41校 中学校17校 高校13校 との連携	高校を中心に 利用案内などを実施	高校訪問などを実施し、SSWや行政機関含め連携が出来つつある。今後は近隣の中学校などにも積極的にアプローチしていきたい。	小学校41校 中学校17校 高校13校 との連携

年次報告書の作成



2021年度の年次報告書を作成。

ユースセンターを知らない人やまだユース交流センターに来たことがない人に向けて、少しでもセンターの内容や価値を知ってもらえるように作成した。近隣の学校や市民などに周知し、広めていく。

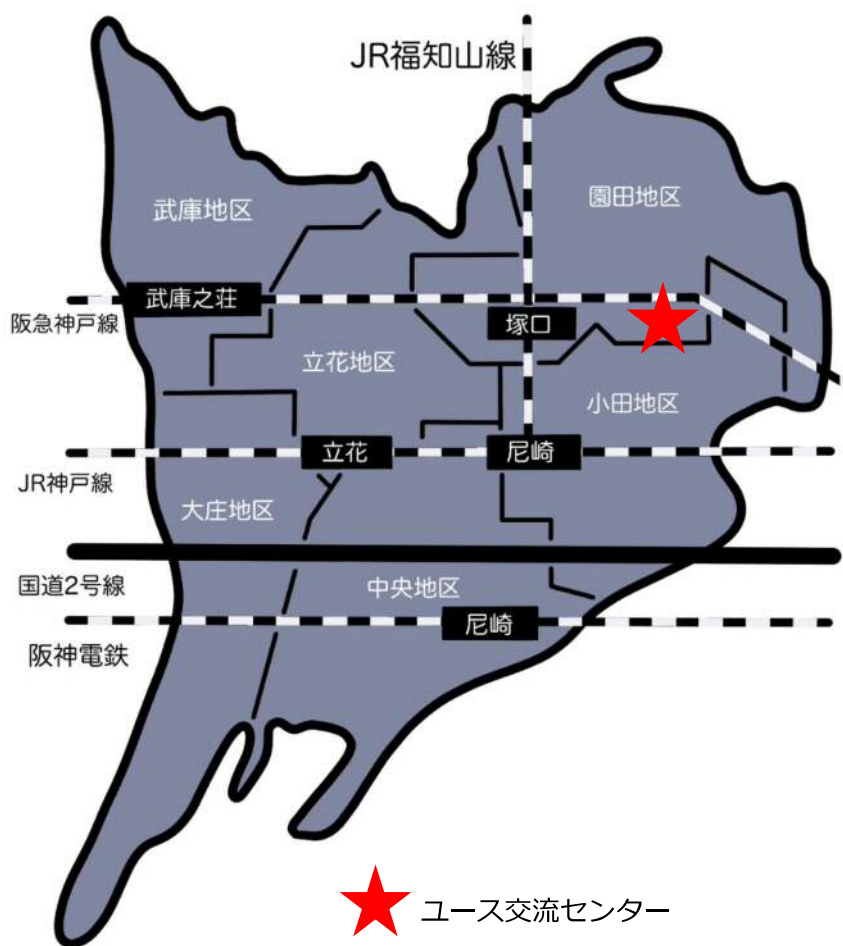
尼崎ティーンズ応援ネットワーク



ユース交流センター、スクールソーシャルワーカー、こども青少年課の三者でネットワークを結成した。現在は2ヶ月に1回程度の頻度でヤングケアラーなど課題を抱えた子どもたち向けの当事者イベントを実施している。

ユース交流センターサテライト事業

「身近にユースセンターがある生活」を目指し、若者の活動拠点の整備を尼崎市地域課職員および地域団体の方と一緒に実施した。



2年間かけて、地域ごとに青少年向けの事業を実施してきた。昨年度末から常設の場所を設置する地域も出てきており、今後も放課後の余暇や自由に過ごせる場所を増やしていきたい。

ユースワーク研修事業

地域においてユースワークの視点で青少年への支援を行うユースワーカーを養成する実践的な講座を実施した。

ユースワーカー養成講習会
in 尼崎市立ユース交流センター

参加費無料

DAY1 2022 6/26 9:30-16:50
DAY2 2022 7/3 9:30-16:50

グループワークを通して、若者に関わる心構えを学ぶ参加者とふりかえりながら、若者への関わり方が学べる！

若者がコミュニティの担い手になっていく過程を支えるスタッフ＝「ユースワーカー」を育てるプログラム。ユースワークの概論、若者に関わる上で必要になる自己理解など、ユースワーカーとしての基礎を2日間で学びます。

こんな人にオススメ

- 子どもと関わりたい大学生
- 教員などに興味がある人
- 若者に寄り添い一緒に成長していく方法を知りたい人

尼*あまぼーとアマブラリ
尼崎市立ユース交流センター

『ユースワーク』は、若者支援の方法です。ありふれた活動（スポーツ・音楽・イベント・遊び etc.）を手段として、若者の主体的な参加を促す教育活動です。

この研修は「ユースワーカー協議会」の協力のもと運営・実施いたします。

研修の流れ

DAY1 6/26 SUN

セッション1 若者を支える仕事
セッション2 ユースワーカーとしての自己理解
セッション3 ユースワークの価値を知る

DAY2 7/3 SUN

セッション4 ユースワーカーに求められるスキルⅠ～コミュニケーションとは～
セッション5 ユースワーカーに求められるスキルⅡ～グループプロセスを織る～
セッション6 事例検討と実践の省察

申し込み

お申込みはこちらのフォームから

新型コロナウイルス感染症対策

この講習会は、以下の感染拡大防止策を講じた上で実施しています。

- 受付時に健康調査を行います。
- 発熱や風邪の症状がある場合は、参加をお断りします。
- マスク着用の上ご参加ください。
- 手指消毒や手洗いをお願いします。
- 密集、密接、密閉にならないように活動します。
- スタッフは、検温や体調管理に留意して活動します。
- また、マスクやフェイスシールドの着用の上、参加します。

場所 尼崎市立ユース交流センター
日時 2022年6月26日 9:30～16:50
2022年7月3日 9:30～16:50

参加費 無料
定員 35名程度
持ち物 筆記用具
問い合わせ 尼崎市立ユース交流センター
尼崎市若王寺2丁目18番4号
あまがき・ひと咲きプラザ内
06-6423-7788
info@youthconso.jp



ユースワーク養成研修

ユースワーカー養成研修のチラシを一新し、多くの人に興味をもってもらえるように工夫した。特に大学生など若い支援者層にも積極的に参加してもらえるように広報を行っている。また、地域ごとにユースワーク説明会などを地域住民向けに行っていく予定である。

▶ Up to You ! (ユースカウンスル事業)

若者の声を社会に届ける。
若者が課題だと思ふことや不安に思ふことを
市の施策として取り組んでいく。

ビジョン：

「若者がきがねなく社会に参画できるまち」

- ① 【みんな】ではなく【若者が】
- ② 【普通】ではなく【きがねなく】
- ③ 【参加】ではなく【参画】

全体の運営については、若者中心での活動が主流になった。役割分担を行い運営し、ビジョン・ミッションについてのMTGや地域でのイベントに参加した。個人プロジェクトについては、センター職員がメンター的な役割となり、活動を行っている。



▶“いろんなことを普通に話せる場に”

学校では取り扱いにくい内容のものや、話しにくいことや自分から聞きにくいことなどで、社会に出たときに必要だと考える内容については、テーマごとに地域団体や行政と連携して、イベント等をする

【政治教育】

市の重点施策に関するパブコメの実施や議員イベントの実施、模擬選挙など

【セクシャリティ教育】

性に関する悩みを日常的にするためにダイバーシティコーナーの設置や個室トイレにセイシルの掲示、性教育イベントを開催し、生理についてや性行為、コンドームのつけ方などを学ぶ

【マネーや権利教育】

弁護士の方に来ていただき、2022年4月から変更となる18歳成人に関するリスク等について講座を開催など



パブコメの様子



性に関するイベントの様子



ダイバーシティコーナー



弁護士による講座